

これからの日本の設計・施工業界では「2D + 3Dの総合力」が鍵です。



背景：BIM活用が進む理由

(BIM : Building Information Modelingの略)

近年、日本でもBIMの活用
が急速に広がっています。



・2025年制度変更：

建築確認申請の電子化・3D PDF化などで、BIMモデル提出が推奨される流れ

・国交省のBIM推進：

国や自治体がBIM活用のガイドライン整備を進め、公共案件を中心に普及

・人手不足と効率化の要請：

2D図面では手間がかかる「整合チェック」「干渉確認」「数量拾い」などを3Dで効率化